

Ⅲ-4 呼吸器衛生/咳エチケット

- 1 咳やくしゃみをする時は、ティッシュやハンカチなどで鼻と口を覆う。
- 2 鼻汁や痰をぬぐったティッシュは、最寄りのゴミ箱に廃棄する。
- 3 鼻をかんだ後、痰を出した後は手を洗う。鼻汁や痰で手が汚染した場合も手を洗う。
- 4 咳をしている人はサージカルマスクを装着する。

Ⅲ-5 患者の配置

- 1 他者への伝播のリスクをもたらす場合は個室に収容する。
- 2 以下の患者について個室収容を検討する。
 - (1) 大量の湿性生体物質を拡散する患者
 - (2) 強い病原性を持つ微生物に感染した可能性のある患者
 - (3) 耐性菌獲得リスクが高い、または、拡散リスクが高い患者
 - (4) 意識清明ではないなど、病院感染対策への協力が得られない場合

Ⅲ-6 安全な注射手技

- 1 注射針および注射器は単回使用とし、一本の注射器から複数患者に薬剤を投与しない。
- 2 点滴バッグ、チューブ、コネクターは一人の患者のみに使用する。
- 3 できるだけ単回量バイアル製剤を用いる。

Ⅲ-7 腰椎穿刺時の感染対策

- 1 骨髄造影・腰椎穿刺・脊椎麻酔・硬膜外麻酔など、脊柱管や硬膜外にカテーテルを留置、または、注射をする処置では、口腔内常在菌が穿刺部位に付着することを防ぐため、サージカルマスクを使用する。

※以下の標準予防策の項目については、それぞれの各論を参照

- | | |
|------------------|-------------|
| ◎鋭利器具の取扱い | ⇒血液体液曝露防止対策 |
| ◎患者に使用した医療器具の取扱い | ⇒洗浄・消毒・滅菌 |
| ◎環境対策・リネンの適切な取扱い | ⇒院内環境整備 |